(b) 平和な社会いが はない ながら という という いましゃかい しゃかい たが さま お か げさまで

思 接すること 社会となり 1, ゃ りを持 \$ 0 0 の な V

((z)

縁あ つ 7

繋がる友達

たく さんの人间 大切に の中

縁があ

0

て出会う友達は

大切

に

しょう。

うそ 増えて つ と 心 0

次々 に嘘き つ 担となる 取り緩 わ

重荷

一度嘘きっ ٤,

いただきます

いただく命に 感謝

感謝 生物とし 動植物の尊い命を食べ ことで生きてい ただきま 仕方のな ことな の

(あ)

愛情と 温な ŧ ŋ 感じ

子は育る つ

爱情と 子供には、 必要で 温も ある。 何よ も親の

言葉選ぼう

引っ込まぬりに出したら

取り消せない 一度口に出し た言葉は

よく考えて発言

健なせん

家族の和 心を育てる

3

健全な心 は 温 か

家庭の中 育ちます

靴そろえ **心も整頓** 

すっきり

靴を揃えることで 自分を振り返る習慣を

付けよう。

3 B

義理人 八情の

忘れてならぬ 人 の 道 み

人情 に厚く

義理 生きて を果た きま

きかり

叶えよう

自分の力で

その夢を

夢を描き、 自分の力で

そ の夢を叶えよう。

力を貴方は持

(\*)

忘れない おりだれない。 ないまた そ まま V 0 M と

自分の心が感じ 他に迷惑をかけな たまま 11

114

誠実に 素するなる に

目上の言葉 聞こう

年長 持 傾け 0 ŧ の 人には尊敬を よう。 素直な心で耳を

() J

すすんで な 親を助ける や ろう お手伝

父母 育て お手伝 てくれて に感謝 7 いる 率光 よう。

自分がされていないよね

嫌なこと

も嫌なことで にされて嫌な ように ŧ ことは う



13 心遺の M

思いやり

さり げな 心遺い なりま が きる

自分 必ず還 が 0 きます ときに

(F)

自分の子の子 の役割 にも Ø

きっ とある

ひたむきに生きていれば、

生きる目的を焦らず探 人の為になることがきっと

手を伸

困って いる友

見捨てない

助け合うことが大切です。 困 0 ている友達が いたら、

12

子の成長った。

時には必要とき

61

試練 を克服 ます がるだけ す 0 3 は甘えて

15

ちょうどよい

足るを知るこ 何事も

不偽も無駄も少ない 何事もいき過ぎず、 ちょうど良いといこ う状態が 不足せず のです

短気ゆえ

身を滅ぼす 慎んで

短気は損を

気を長く持ちまし



残さず 0

自然 の農はかさ 人の心

また、 取り戻すこと 自然は一度失ったら は困難で まっ とも困難です す。 の

願ねが M とは 工夫と努力で

叶うもの

続けることで 工夫や努力を あきらめるのではなく 度や二度 Ø) 失敗で うも の です。

( kg )

念入りにぬかりなり 備える心

準備すること 日頃から粉事に対 で同違い ての ゃ

大きな失敗をしな 12 6

逃げな いで

トライするから

強くなる

あきらめずにやりぬこう。 踏ん張ったことが大きな力となり 一度やると決めたことは



和やかな 人な 周ま

輪ができる

ゲトゲせず 和や

自然と輪が 心を持ちま きてきます。

(E)

保身より

素直に謝る

ごめんなさ M

间違 たことを たら

に謝りま う。

3 平常しんへいじょうしん 焦らず行動

落ち着っ W 7

も平常心 で

ることを

1/2 けまし よう。

振り返る

自分の行い

正

振り返り 自分の 行 き

人を傷つけ

大事で尊いひとつだけ

の 命

することは ムの うにリセ きません。

自分の命

忘れずに イと言う

素直な心

年長者の意見は

光に経験され

结果 から出て るもの

(E) その精神は もつ たいな W 江え

世界 ť 红户 もったいない の共通語とな くぐさのひと の精神は、 7. す。 た

成長の種なるとの作品 め んどう に は 3 W

面倒くさいと逃げ 自分の成長へとなります つ てみると るより、

しむ

無茶するな

待\*痛な つ い 思 いる いが

調子に乗っ 怪我のもと。 て庶茶をすると

気を付けましょう。

身だしなみ

人となり示すあなたの

服装の乱れは心の乱れ。

心掛けま い身だしなみを よう。

( **3** )

思った時ほど

冷静に

急な出来事にも 冷静に対処する ことが必要である。

欲張らず

分け合おう ほどほどを知り

あまり 欲きかかず

みんなに分けよう

気持ちを持ちまし

やさしい心

いつまでも

は起きません 今えば

争

S 心を持た

(b)

や つ みよ う

思語 Ŋ つ いた 6 即行動

考えすぎて行動で きないなら、

失敗を恐れず にや 0

3 自りとうとん 知恵に学んで

お年寄りはいろいろな

敬い、 知恵をお持ちです。 学び、 自らを振り返る

糧にし # くよう。

| 社の人には | 人には | 人に 養正しく

尊敬を

人には礼儀正し 自分より年上の しまし しょう。

**(**る)

人に迷惑でルールを守り

かけないぞ

法律や決め事を守り、 他人に迷惑を掛けない様に

心掛けまし しょう。

自分が創るとうの未来は

理想、 理念を持って、

自分の幸せは自分で かむものです。

楽と苦は

もともとひ とつ

楽追うな

苦劳 へた経験から

得るものは大きい。

かり求めてはい

けません。

(b)

若か い 時

学な ばぬ悔

噛みしめる

社会に出てから、 もっと勉強 しておけ

ったと後悔しな

学習に励